586	民商法雑誌36巻１号（昭和32（1957）年４月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集11巻１号］支払命令に対する異議申立後における専属管轄違背の主張の許否	野間繁	120,000	415	33	448	41	3	44
587	民商法雑誌36巻２号（昭和32（1957）年５月15日号）	〔司法資料〕大阪家庭裁判所家事審判部決議録(79)	谷村経頼	120,000	166	13	179	17	1	18
588	民商法雑誌36巻２号（昭和32（1957）年５月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集11巻２号］一時使用のための借地権の一事例	後藤清	120,000	498	40	538	50	4	54
589	民商法雑誌36巻２号（昭和32（1957）年５月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集11巻２号］当事者双方不出頭の場合に延期された判決言渡期日の告知	山口友吉	120,000	415	33	448	41	3	44
590	民商法雑誌36巻２号（昭和32（1957）年５月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集６巻10号］自作農創設特別措置法第47条の２の「当事者がその処分のあったことを知った日」の意義	東民夫	120,000	415	33	448	41	3	44
591	民商法雑誌36巻３号（昭和32（1957）年６月15日号）	〔司法資料〕大阪家庭裁判所家事審判部決議録(80)	相賀照之	120,000	249	20	269	25	2	27
592	民商法雑誌36巻３号（昭和32（1957）年６月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集11巻３号］１　附帯控訴状と第一審判決の表示　２　過大催告が有効と認められた事例	東民夫	120,000	498	40	538	50	4	54
593	民商法雑誌36巻３号（昭和32（1957）年６月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集６巻11号］１　建物賃貸借契約書に用いられた「永久貸与」という文言の解釈　２　借家法第１条ノ２にいわゆる正当の事由がある一事例	後藤清	120,000	746	60	806	75	6	81
594	民商法雑誌36巻３号（昭和32（1957）年６月15日号）	〔論説〕社宅使用関係の実態	後藤清	120,000	912	73	985	91	7	98
595	民商法雑誌36巻４号（昭和32（1957）年７月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集６巻12号］訴訟物が金銭債権である訴と一定金額表示の要否	加藤孝之	120,000	498	40	538	50	4	54
596	民商法雑誌36巻５号（昭和32（1957）年８月15日号）	〔司法資料〕大阪家庭裁判所家事審判部決議録(82)	澤井種雄	120,000	249	20	269	25	2	27
597	民商法雑誌36巻５号（昭和32（1957）年８月15日号）	〔論説〕溜池所有権の考察	竹山増次郎	120,000	2,322	186	2,508	232	19	251
598	民商法雑誌36巻６号（昭和32（1957）年９月15日号）	〔司法資料〕大阪家庭裁判所家事審判部決議録(83)	澤井種雄	120,000	249	20	269	25	2	27
599	民商法雑誌36巻６号（昭和32（1957）年９月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集11巻６号］１　連帯債務として主張しなかった債務の履行を求める前訴の判決確定後の後訴において連帯債務である旨主張することの許否　２　ある金額を訴訟物の全部として訴求し勝訴の確定判決を得た場合における残額請求の許否	山口友吉	120,000	995	80	1,075	100	8	108
600	民商法雑誌36巻６号（昭和32（1957）年９月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集11巻６号］戦時罹災土地物件令附則第３項にいう「空襲其ノ他戦争ニ起因スル災害ニ因リ滅失シタル建物ノ敷地」の意義	後藤清	120,000	415	33	448	41	3	44
601	民商法雑誌36巻６号（昭和32（1957）年９月15日号）	〔判例批評〕［最高裁民集11巻６号］年令10年５ケ月の被害者の責任能力	植林弘	120,000	664	53	717	66	5	71
602	民商法雑誌37巻１号（昭和32（1957）年10月15日号）	〔特殊判例研究〕公務員の免官の効力発生時期と辞令の発信または官報の掲載	熊野啓五郎	120,000	415	33	448	41	3	44